

## 第1日目 3月19日 (火) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS1 (公開)	シンポジウムS2 (公開)
9:00	緊急シンポジウム 「令和6年能登半島地震」	次期改訂に向けての小中高地誌学習 の新たな方向性
9:20	プログラムはホームページ参照。 ポスター発表を3月19日17:00まで4階ラウンジで 開催。	〔オーガナイザー〕 田部俊充 (日本女子大) ・ 吉田 剛 (宮城教育大) ・井田仁康 (筑波大)
9:40		開始時刻 9:00
10:00		S201 9:00-9:15〔趣旨説明〕 田部俊充(日本女子大):企画趣旨:次期改 訂に向けての小中高地誌学習の新たな方 向性
10:20		S202 9:15-9:30 吉田 剛(宮城教育大):一貫地理教育カリ キュラムにおける地誌学習の方向
10:40		S203 9:30-9:45 河本大地(奈良教育大):「地誌」と「系統地 理」の関係を小中高一貫で考える—小中高 一貫地理教育カリキュラムを構築するために
11:00		S204 9:45-10:00 阪上弘彬(千葉大):一貫地理カリキュ ラムにおける地誌学習はいかにあるべき か—ドイツの地理教育の分析
11:20		S205 10:00-10:15 永田成文(広島修道大):小中高一貫カリ キュラムを見据えたESDとしての地誌学習の 構想—現代世界の諸課題に着目して
11:40		S206 10:15-10:30 三橋浩志(文部科学省):最近の教育改 革の動向と地理教育・地誌学習
12:00		〔総合討論〕 10:40-11:25 S207 11:25-11:35〔コメント〕 濱野 清(兵庫教育大):コメント:学校種をつ なぐ地理, 地誌学習内容
		S208 11:35-11:45〔総括〕 井田仁康(筑波大):次期改訂に向けての小 中高地誌学習の新たな方向性(総括)
		〔おわりに・次回の予告〕 11:45-12:00
	昼 休 み	

第1日目 3月19日 (火) 午前

第 3 会 場		第 4 会 場		開始時刻
〈人口・行動〉		〈海外地域研究〉		
301	小坪将輝* (東北大・学振DC)・中谷友樹 (東北大) : 日本における都市階層間の年齢階級別人口移動パターン	401	申 知燕 (昭和女子大) : トランスナショナルな移住によるエスニック・ビジネスの変容	9:00
302	小池司朗 (国立社会保障・人口問題研) ほか : 「日本の地域別将来推計人口 (令和5年推計)」の概要	402	土屋 純 (関西大) : デリー首都圏におけるショッピングモールの展開とテナントミックスの状況	9:20
303	堀本雅章 (法政大) : 八丈小島と臥蛇島の無人島化への要因の比較	403	小島泰雄 (京都大) : 経済特区から創造都市へ—高度経済成長期の深堀	9:40
304	杉山武志 (兵庫県立大) : 兵庫県の多自然地域再生政策と「レゾナデートル」—旧町域のコミュニティ経済を生成する丹波篠山市東部六地区協議会を事例に	404	阿部康久 (九州大) : 社会主義市場経済下での中国の地域構造についての考察	10:00
305	膝 媛媛 (東北大) ほか : 移住者に対する意識—受入住民側の特性に着目した探索的分析	405	原 裕太 (東北大) : 中国における穀物生産・消費の地域性と高度経済成長期を通じた変化	10:20
306	堀川 泉 (京都大・院) ほか : 都市住民の食生活の満足度は何に規定されるのか—全国インターネット調査の統計的分析に基づく考察	406	張 貴民 (愛媛大) : 中国の高度経済成長期における農業地域の変容—食糧産地に着目して	10:40
307	和田 崇* (県立広島大)・麓 穂乃佳 (県立広島大・学) : ボルノグラフィティのファンが聖地・因島に移住するメカニズム	407	崎田誠志郎 (久留米大) : ギリシャ・メソロンギ=エトリアラゲーンの漁場利用をめぐる漁業者組合の社会関係	11:00
308	小原満春 (沖縄国際大) : ライフスタイル移住帰還者の類型に関する考察—沖縄県の事例	408	森下航平 (京都大・院) : プータンにおける学校の分布とその変化—タシガン県における学校設立と統廃合を事例に	11:20
309	安田奈央 (都立大・院) : COVID-19流行前後の福岡市都心部における歩行者行動の時空間分析—1日スケールの位置情報ビッグデータを用いて	409	菊川翔太 (京都大・院) : グローバリゼーションとプータン農村の変容—プータン東部のパルツァム郡を事例に	11:40
昼 休 み				12:00

## 第1日目 3月19日 (火) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈農業・農村〉	〈地図・GIS〉
9:00	501 田原和真（関西大・院）：森林組合を中心とした持続可能な林業展開—和歌山県龍神村森林組合を事例に	601 高阪宏行（ジオリーティル）：地理学の思考—位置と空間
9:20	502 木戸口智明（東北大・院）：岩手県奥州市における農業法人の成立過程	602 瀬戸寿一（駒澤大）：米国版「地理情報科学・技術の知識体系」改訂事項のコンテンツ分析
9:40	503 穂積謙吾（早稲田大）：1990年代後半以降の日本の海面魚類養殖業における生産額の維持に関する統計的検討	603 宇都宮陽二郎（三重大・名誉）：佐渡博物館蔵1791年製Cary's pocket globeケース内面に表示された地理情報について
10:00	504 小川滋之（ふじのくに地球環境史ミュージアム）：本州中部地域における多粒型落花生の産地分布と利用の特徴	604 小田匡保（駒澤大）：駒澤大学図書館所蔵 多田文男教授旧蔵国内官製地図の概要と稀観図
		〈歴史・文化〉
10:20	505 山崎恭平（東京大・院）：山間地域におけるユズ生産の拡大と二種類の経営発展可能性—高知県香美市の事例を中心に	605 清水克志（筑波大）：下総台地における野菜種子生産の史的展開
10:40	506 川久保篤志（東洋大）：日本ワインブーム下の長野県における醸造用ぶどう供給構造の変化	606 高田勇氣（国立台南大・院）：日本統治時代台湾における建物疎開の過程
11:00	507 金 科哲（岡山大）：地方消滅論は現実なのか？政策的な修辭なのか？	607 後藤 寛（横浜市立大）：スエズ航路をハブとした戦間期東西交易の可視化
11:20	508 王 立騰（大阪大・院）：過疎地域のスマートネスの実態と今後の課題—島根県を事例として	608 田中 諒（京都大・院）：1912~1930年の大隅半島における中心地の形成
11:40	509 小野寺美咲（金沢大・院）：農山村において高齢者が小さな農業を継続する意義	609 山元貴継（琉球大）：鹿児島県・南薩地域における村落構造と「門割」—法務省地図データおよび土地台帳などの活用による分析
12:00	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>	

第1日目 3月19日 (火) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
		9:00
<p>〈水文〉</p>	<p>〈植生・地形〉</p>	
<p>702 小室 隆 (関東学院大) ほか：環境DNAを用いた霞ヶ浦流域内河川におけるイシガイ類の分布の解明</p>	<p>802 棚橋 廉 (都立大・院) ほか：時系列衛星画像と機械学習を用いた釧路湿原の植生変化</p>	9:20
<p>703 林 武司* (秋田大) ・高樋さち子 (日本大)：インドネシア・ロンボク島におけるASGMの特徴 (第2報)</p>	<p>803 神吉隆行 (学振PD・九州大) ほか：フォトグラメトリによる海藻植生地図の作成—福岡県姫島沿岸の人工藻場での事例</p>	9:40
<p>704 小寺浩二 (法政大) ほか：中央アジア・キルギスの水環境に関する水文地理学的研究 (1)</p>	<p>804 吉田光翔 (都立大・院) ほか：植生帯境界域における森林動態と樹木の空間分布パターン</p>	10:00
<p>705 小田理人* (千葉大・院) ・小寺浩二 (法政大)：荒川水系市野川の水質に関する水文地理学的研究</p>	<p>805 近藤祐磨 (学振PD・金沢大)：生態系サービスから考える海岸マツ林の利活用</p>	10:20
<p>〈気候〉</p>		
<p>706 藤部文昭：日本における近年の都市昇温の鈍化傾向</p>	<p>806 細渕有斗* (日本大・院) ・森島 済 (日本大)：大佐渡山地北西斜面の風衝地にみられる植生の成立環境</p>	10:40
<p>707 平野勇二郎 (国立環境研) ほか：熱収支シミュレーションによる地表面温度分布の日変化パターン解析</p>	<p>807 梶原拓人* (都立大・院) ・川東正幸 (都立大)：海岸林植栽基盤における土壌特性の空間変動解析—仙台平野の海岸林を対象として</p>	11:00
<p>708 Doan, Q. (Univ. of Tsukuba)：Asymmetric warming and the decrease in day-night temperature variation? the tail of two regions</p>	<p>808 大貫靖浩 (森林総合研) ほか：ブナ林土壌の保水機能の定量的評価—安比高原・胆沢川上流部・森吉山麓高原における比較研究：第2報</p>	11:20
<p>709 中島 虹 (東京大) ほか：d4PDFを用いた将来の日本における暑熱環境</p>		11:40
		12:00
<p>昼 休 み</p>		

## 第1日目 3月19日 (火) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS3 (公開)	〈気候〉
13:00	災害地理学の発展をめざして ——日本地理学会の災害対応開始から 四半世紀の歩みと今後の展望——	211 中川清隆 (立正大) : 上越沿岸域海面水 温と上越水族博物館取水海水温の関係
13:20	[オーガナイザー] 田中 靖(駒澤大)・八反地 剛 (筑波大)・石黒聡士(愛媛大)・鈴木康弘(名古屋 大)  開始時刻 13:00	212 大和田春樹 (気候環境研究会) ほか: 木 曾川中流域における一宮市のヒートアイ ランドの季節変化の特性
13:40	S301 13:00-13:20 [趣旨説明] 鈴木康弘 (名古屋大) ほか: 災害地理学 の発展をめざして—日本地理学会の災害 対応開始から四半世紀の歩みと今後の展 望 (シンポジウムの趣旨)	213 岩本結希乃* (鳥取環境大・学) ・重田 祥範 (鳥取環境大) : 広島県福山市街地 の街区気温と海風侵入の関係
14:00	S302 13:20-13:40 戸所 隆 (高崎経済大・名誉) : 災害対 応委員会創設と防災地理教育推進への想 い	214 鶴 莉子* (鳥取環境大・学) ・重田祥範 (鳥取環境大) : 岡山県津山盆地におけ る放射霧の動態と水蒸気量の関係性
14:20	S303 13:40-14:00 平井幸弘 (駒澤大) : 学会としての災害 対応を通じた社会との連携と情報発信	215 今枝侑香* (鳥取環境大・学) ・重田祥 範 (鳥取環境大) : 京都府北部由良川河 口で吹走する局地風“由良川あらし”の観 測
14:40	S304 14:10-14:30 矢ヶ崎太洋 (兵庫県立大) : 災害地理学 の体系化に向けた諸概念の再検討	216 山本 諒* (三重大・院) ・立花義裕 (三 重大) : 年間総積雪量を決定づける気候 学的要因
15:00	S305 14:30-14:50 小田隆史 (東京大) : 「地域特性」を踏 まえた学校防災の推進に災害地理学が果 たす役割	15:05~15:50
15:20	S306 14:50-15:10 石黒聡士* (愛媛大) ・熊原康博 (広島 大) : 国立大学の災害対応組織における 地理学研究者の取り組み	2022年度吉野賞受賞記念講演  安成哲三会員: アジアモンスーンと私
15:40	S307 15:10-15:30 田中 靖* (駒澤大) ・八反地 剛 (筑波 大) : 地理学会における組織的な災害対 応と情報共有の重要性	
16:00	[総合討論] 15:30-16:00  終了時刻 16:00	
16:20	第1会場	
	16:15~16:45 表彰式	
	17:00~17:40 会長講演	
	(16:00~17:00 ポスターセッション発表者による説明)	

## 第1日目 3月19日 (火) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈都市・交通〉</p> <p>311 平野竣祐 (愛知教育大・学) : 若者の行動空間にみる「夜の盛り場」—名古屋市中区「栄」地区を事例として</p> <p>312 宮路凌太 (新潟大・院) : 生活者である高校生の視点からの地方—富山県砺波市を事例に</p> <p>313 方 學嘉 (金沢大・院) : 淡海ニュータウンにおけるサンドイッチマンの身体的な実践</p> <p>314 田畑勇也 (立命館大・院) : 京都市都心周辺地域における京町家の残存要因—土地と建物の所有関係に着目して</p> <p>315 池田千恵子 (芸術文化観光専門職大) : リノベーションまちづくりとジェントリフィケーション—長野県小諸市を事例として</p> <p>316 鉦塚賢太郎 (龍谷大) : 別府市における大学立地と賃貸アパート</p> <p>317 藤塚吉浩 (大阪公立大) : ニューヨーク市ブルックリン北部におけるジェントリフィケーション—2010年代の変化</p> <p>318 伊藤徹哉 (立正大) : 都市空間の形成・変容の転換期における都市再生の地域的条件—ドイツを事例に</p> <p>319 中垣太樹 (京都大・院) : ウガンダ・カンパラ大都市圏 (1989-2021) における丘陵地形と都市空間の拡大—Landsat衛星画像を用いた分析</p>	<p>〈海外地域研究〉</p> <p>411 細井將右 (地図情報研) : アグスチン・コダッシの『ベネズエラ地理要説』</p> <p>412 高橋輝行* (ヒマラヤ保全協会)・相馬拓也 (京都大) : ネパール西部におけるコミュニティ参加型生活林再生事業のインパクト評価</p> <p>413 相馬拓也 (京都大) : 古写真でたどる川喜田二郎とヒマラヤ保全協会の50年史</p> <p>414 佐々木美紀子* (北海道大・院)・渡邊悌二 (北海道大) : ネパール, サガルマータ国立公園・クムジュン村における牧畜の現状</p> <p>415 王 婷 (北海道大・院) ほか : サガルマータ国立公園におけるヤクの放牧地を通過する登山道周辺のガリー侵食・植生荒廃の分布パターン</p> <p>416 渡邊悌二 (北海道大) ほか : カラコラム北部, シムシャル村における社会変容と牧畜の維持戦略</p> <p>417 六井菜月* (北海道大・院)・渡邊悌二 (北海道大) : パキスタン, シムシャル村におけるトロフィーハンティングおよび野生動物資源の持続可能性に関する研究</p> <p>418 渡邊和之* (阪南大)・白坂 蕃 (東京学芸大・名誉) : 中部ネパール・アンナプルナ南面山地における移牧</p> <p>419 白坂 蕃 (東京学芸大・名誉) ほか : ネパール東部, クンプ=ヒマールにおける農牧複合経営の変容</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p>
<p>第1会場</p> <p>16:15~16:45 表彰式</p> <p>17:00~17:40 会長講演</p> <p>(16:00~17:00 ポスターセッション発表者による説明)</p>		<p>16:20</p>

## 第1日目 3月19日 (火) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈農業・農村〉	〈歴史・文化〉
13:00	511 若本啓子 (宇都宮大) : 原子力被災地域における畜産経営再開の意思決定と持続性回復の経路—福島県飯館村, 葛尾村を事例に	611 中島柚宇 (名古屋大・院) : 高知県山間部における巻き狩り猟の変容
13:20	512 淡野寧彦 (愛媛大) : コロナ禍における高級牛肉需給への影響と産地の対応	612 徳安浩明 (大和大) : 20世紀中頃における島根県旧仁多町三沢地区の鉄穴流し
13:40	513 河本大地 (奈良教育大) : 「能登の里山里海」と令和6年(2024年)能登半島地震—世界農業遺産として価値づけられた地域資源は, 発災後どう表現されているか	613 中村周作 (宮崎大) : 宮崎県北山間地域における伝統食の摂食変化とその地域的展開—椎葉村を事例として
14:00	514 矢ヶ崎典隆 (東京学芸大・名誉) : アメリカ西部における砂糖の地理学	614 関戸明子 (群馬大) : 名勝としての妙義山のイメージの生産と流通
14:20	515 山口哲由* (北星学園大)・月原敏博 (福井大) : イギリス統治期の地籍資料を用いたインド北西部の山地土地利用分析	615 植草昭教 : いなげ八景の選定—海の記憶を伝える
14:40	516 李 為霖 (立命館大・院) : 「退耕還林」政策後の黄土高原における農村の変容—陝西省吳起県李溝村の事例	616 馬籠 翔 (京都府立大・院) : 浜辺のスペクタクル化—明治期の大磯海水浴場を事例として
	〈政治・社会〉	
15:00	517 淵上瞬平 (愛知教育大・学) : 地理的スケールの多層性にみる政治家の「地元」認識とその差異—選挙制度改革の目指した政治態度をめぐって	617 楊 珺屹* (関西大・院)・松井真一 (愛知学院大) : 沖縄県国頭郡今帰仁村謝名における集合的記憶の構築—グループインタビューの質的分析を通じて
15:20	518 松本健佑 (大阪大・院) : 地域政党はどのように他地域へ進出するのか	618 渡邊洋心 (愛媛大・院) : 愛媛県松山市久谷地区における「お接待」を活用した地域づくり活動の展開と宗教文化の地域資源化
15:40	519 中島弘二 (金沢大) : 金武湾闘争における生存思想に関する存在論的研究	619 松木駿也 (大阪公立大・学振DC) : 河川インフラストラクチャーの可視化と付与される価値—長野県における歴史的砂防施設の文化財化
16:00		
16:20	第1会場	
	16:15~16:45 表彰式	
	17:00~17:40 会長講演	
	(16:00~17:00 ポスターセッション発表者による説明)	

## 第1日目 3月19日 (火) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈経済・産業〉</p> <p>711 笠原茂樹（日本大・院）：美濃焼産地における生産量の減少と卸売業者の経営対応</p> <p>712 李 傑陽*（熊本大・院）・鹿嶋 洋（熊本大）：熊本県における半導体産業集積の発展と企業間連関</p> <p>713 曾我部千洋（東京大・学）：イノベーションの空間的変容と近接性に関する一考察—福井県の繊維産業を事例として</p> <p>714 宇根義己（金沢大）：インド・アパレル産業における生産ネットワークとCOVID-19の影響—デリー首都圏の日本市場向け製造企業2社を事例に</p> <p>715 山田育穂（東京大）ほか：スタートアップ提供サービスの共立地分析</p> <p>716 森 泰規（博報堂）：待ち人來たらずへの許容度を通じた主観的幸福度の発現検証</p> <p>717 山崎康平（立命館大・学）：沖縄本島におけるコンビニエンスストアの立地展開—那覇市を中心として</p> <p>718 犬塚智史（香港中文大・PD）：大店法下におけるモータリゼーションと郊外モールの実験的開発</p> <p>719 箸本健二*（早稲田大）・荒井良雄（帝京大）：離島向けネットスーパーの物流システム—鹿児島県島嶼部におけるAチェーンの事例から</p>	<p>〈地形〉</p> <p>811 杉山博崇*（新潟大・学振DC）・奈良間千之（新潟大）：白馬連山、杵子岳における近年の岩壁の削剥過程</p> <p>812 當麻央介（都立大・学）ほか：遷急線と山体重力変形地形にもとづく斜面崩壊のポテンシャル評価</p> <p>813 古庄航輝*（茨城大）・小荒井 衛（茨城大）：磐梯山南西麓に分布する流れ山地形の形成要因</p> <p>814 高橋直也（東北大）ほか：源流部における粒子形状変化の岩種依存性—岩盤強度と礫供給源の影響</p> <p>815 小荒井 衛（茨城大）ほか：常時微動計測で把握した小平市内の窪地の地下構造</p> <p>816 館野宏彰*（東京大・院）・須貝俊彦（東京大）：栃木県今市扇状地の河成段丘区分とその編年</p> <p>817 潘 多*（関西大・院）・黒木貴一（関西大）：木津川流域における天井川の微地形と水利用</p> <p>818 杉田一真*（東京大・学）・須貝俊彦（東京大）：長良川・揖斐川流域の河畔砂丘—未確認の河畔砂丘の発見と堆積物の起源の推定</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p>
<p>第1会場</p> <p>16:15～16:45 表彰式</p> <p>17:00～17:40 会長講演</p> <p>(16:00～17:00 ポスターセッション発表者による説明)</p>		<p>16:20</p>



## 第2日目 3月20日 (水) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS4 (公開)	シンポジウムS5
9:00	国際地理教育界におけるカリキュラムとペダゴジーをめぐる研究の展望 ——「ジオ・ケイパビリティズ」プロジェクトを軸に——	救援活動拠点・避難所の配置と地理学の貢献
9:20	主催：地理教育専門委員会・地理教育国際共同研究グループ 〔オーガナイザー〕伊藤直之（鳴門教育大）・金 玗辰（筑波大）・山本隆太（静岡大）	〔オーガナイザー〕荒木一視（立命館大）
9:40	開始時刻 9:00	開始時刻 9:00
S401 9:00-9:10	〔趣旨説明〕伊藤直之（鳴門教育大）：シンポジウム「国際地理教育界におけるカリキュラムとペダゴジーをめぐる研究の展望——「ジオ・ケイパビリティズ」プロジェクトを軸に——」の背景	S501 9:00-9:15 〔主旨説明〕荒木一視（立命館大）：救援活動拠点・避難所の配置と地理学の貢献—主旨説明
10:00	〔座長〕伊藤直之（鳴門教育大）	S502 9:15-9:30 楮原京子*（山口大）・桐村 喬（京都産業大）：数値表層モデルおよびオルソ画像を用いた救援活動拠点の立地特性の分析
S402 9:10-9:50	（基調報告）Béneker, T. (Utrecht Univ.) : Connecting 'knowledges' in Geography Education: Reflections from a GeoCapabilities perspective	S503 9:30-9:45 田中耕市（青山学院大）：津波被災想定地域における避難所アクセシビリティと需給バランス
10:40	S403 9:50-10:05 金 玗辰（筑波大）：地理教育におけるケイパビリティ・アプローチの探索—ウェルビーイングとエージェンシーの活用に着目して	S504 9:45-10:00 熊谷美香（大阪公立大）：避難行動支援および福祉避難所の配置に関する検討
11:00	S404 10:05-10:20 志村 喬*（上越教育大）・山本隆太（静岡大）：開発研究期の「地理総合」授業を学習者はどのように振り返っているか—神戸大学附属中等教育学校卒業生へのインタビュー調査から	S505 10:00-10:15 保井智香子（立命館大）：備蓄食・ローリングストック法を活用した食事・栄養摂取に関する検討
11:20	〔休憩〕10:20-10:30	〔休憩〕10:15-10:30 〔コメント〕10:30-11:00 菅野 拓（大阪公立大），岩船昌起（鹿児島大）ほか
S405 10:30-10:45	高木 優（神戸大学附属中等教育学校）：開発研究期の「地理総合」を授業者はどのように実践してきたのか—神戸大学附属中等教育学校の実践記録から	〔総合討論〕11:00-11:40
11:40		終了時刻 11:40
12:00	S406 10:45-11:00 永田成文（広島修道大）：力強い学問的知識に基づいた地理的探究によるESDとしての地理授業—持続可能性の概念と地理的価値態度に着目して	
S407 11:00-11:15	二井正浩（成蹊大）：ケイパビリティと歴史教育におけるレリバンスの構築—新科目「歴史総合」と英国PGCE教材「Human Being?」を事例に	（11:40～12:10 ポスターセッション発表者による説明）
	〔コメント〕11:15-11:25：井田仁康（筑波大） 〔総合討論〕11:30-12:00	昼 休 み
	終了時刻 12:00	

## 第2日目 3月20日（水） 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈都市・交通〉</p> <p>331 榑引素夫（青森大）：北陸新幹線・敦賀延伸と能登半島地震—東日本大震災などの対比から</p> <p>332 山本卓登（東京大・院）：長野県の振興山村指定地域における公共交通サービス供給と利用可能性</p> <p>333 柴田卓巳（東京大・院）：人口稀薄地域において並行する鉄道とバスの連携とその課題—JR四国による取組みを事例に</p> <p>334 本谷佳保*（名古屋大・院）・加藤博和（名古屋大）：本土へ通学する離島在住高校生が抱く負担感の解明</p> <p>335 印南浩幸（駒澤大・院）：斜面住宅地居住者の移動行動—静岡県熱海市を事例にして</p> <p>336 山下潤（九州大）：運輸部門における温室効果ガス排出削減へのMaaSの可能性</p> <p>337 遠藤有悟（日本大・学振DC）：PTALを用いた公共交通への近接性研究—2010年における東京都23区を事例として</p> <p>338 Huang, X. (Graduate Student, Tsukuba Univ.) et al. : Evaluating transit-oriented development for sustainable urban growth: A case study of the development along the Tsukuba Express Line in Japan</p> <p>339 井上学（龍谷大）：デマンド型交通における利用状況と持続可能な運営に関する検討—京都府伊根町の自家用有償運送「いねタク」の事例</p>		<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>（11:40～12:10 ポスターセッション発表者による説明）</p> <p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月20日 (水) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈観光〉	
9:00	531 Mai, T. K. V. *(Grad. Student, Okayama Univ.) and Kim, D-C. (Okayama Univ.) : The impact of international conservation schemes on wetland management in a developing country: A case study of Tram Chim National Park, Vietnam	
9:20	532 杜国慶 (立教大) : SNS投稿にみる東京都区部観光スポット分布の言語間異同	
9:40	533 西川祐人 (愛知教育大・学) : 都市鉄道における観光利用の可能性—名古屋鉄道を事例に	〈政治・社会〉
10:00	534 綱川雄大 (明治大・院) : 宿泊業労働者の経歴からみた長野県軽井沢町への労働移動	633 栗林 梓 (東京大・院) : 大学寮から考える地方圏出身者の教育機会—東京への離家, 学生生活, そしてキャリア
10:20	535 船引彩子 (東京理科大) : 福島県裏磐梯地域におけるペンション地域の形成	634 畔蒜和希 (明治大・院) : 保育所における労働編成とパート労働の位置づけ—東京都調布市の保育所を事例に
10:40	536 渡邊瑛季 (帝京大) : 山梨県富士五湖地方におけるグランピング施設の進出状況	635 早川凌矢 (愛知教育大・学) : シングルファザーが孤立する空間と近代家族観
11:00		636 小山夏乃子 (関西学院大・院) : 産業の転換と鉱業イメージの再生—「炭都」田川市を事例として
11:20		637 中澤高志 (明治大) : 別府市における留学生の創業による定位
11:40		638 本多忠素 (大阪公立大・院) : 納骨堂の建立と反対運動—大阪市の事例を中心に
12:00	(11:40~12:10 ポスターセッション発表者による説明)	
	昼 休 み	

第2日目 3月20日（水） 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈災害〉</p> <p>731 小野映介（駒澤大）：令和6年能登半島地震によって生じた越後平野における地盤災害</p>		9:00
	<p>〈地形〉</p> <p>832 泉 隆盛（国士舘大・院）：サンゴ礁、礁縁から礁斜面における測深の一手法の提案</p>	9:20
<p>733 村岸 純*（八洲学園大）・佐藤裕亮（大正大・非常勤）：学校資料を活用した長野県安曇野市域における災害記録の抽出</p>	<p>833 長谷川 均（国士舘大）：佐渡島平根崎の中新世石灰岩質砂岩にみられる海岸カルスト地形</p>	9:40
<p>734 村山良之（山形大）ほか：地形を踏まえたハザードマップ 3 段階読図法—教員研修の実践に基づく展開</p>	<p>834 Dhiva, A. P. (Undergraduate Student, Kyushu Univ.) et al.: Importance of tidal flat and seagrass zone to coral reefs: The distribution of terrestrial sediments in Nagura Bay, Ishigaki Island using loss-on-ignition methodology</p>	10:00
<p>735 中村健太郎*（東京大・院）・須貝俊彦（東京大）：水害常襲地帯における神社と立地特性の関係—濃尾平野における事例から</p>	<p>835 菅 浩伸（九州大）ほか：与那国島沿岸の海底における砂岩の侵食地形—マルチビーム測深と ROV フォトグラメトリー、潜水調査による浅海底地形研究</p>	10:20
<p>736 松本颯人（駒澤大・院）：2019 年東日本台風による福島県いわき市夏井川下流域での洪水災害の特徴</p>	<p>836 大上隆史（産総研）：島原湾南部の海底地形</p>	10:40
	<p>837 小松原 琢（産総研）：沿岸活断層の上下変位速度の求め方について</p>	11:00
	<p>838 後藤秀昭（広島大）ほか：ウランバートル断層の南東部における最終氷期以降の活動</p>	11:20
		11:40
<p>(11:40~12:10 ポスターセッション発表者による説明)</p> <p>昼 休 み</p>		12:00

## 第2日目 3月20日（水） 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS6	シンポジウムS7
13:00	地形・植生・人の見えないつながりを見る化する ——高精細地理情報を用いた流域内コネクティビティの研究——	生活を支える流通・サービスの協同空間
13:20	[オーガナイザー] 早川裕弐（北海道大）・齋藤 仁（名古屋大）	[オーガナイザー] 秦 洋二（流通科学大）
	開始時刻 13:00	開始時刻 13:00
13:40	S601 13:00-13:15 早川裕弐（北海道大）：高精細多層地表情報を用いた景観をまたぐ相互接続性の解明に向けて	S701 13:05-13:20 秦 洋二（流通科学大）：木材の地域循環型流通システムと協同空間の創出—奈良県吉野地域の製材業者を事例に
14:00	S602 13:15-13:35 小倉拓郎（兵庫教育大）ほか：高精細地理情報と絵図を用いた Eco-DRR 施設の可視化—滋賀県愛知川中流域・猿尾の事例	S702 13:20-13:35 前田竜孝（長崎県立大）：長崎県宇久島における民泊事業者による水産物の交換
14:20	S603 13:35-13:55 飯塚浩太郎*（東京大）・朱 子豪（十方資源科技股份有限公司）：超長波を用いた地下構造解析	S703 13:35-13:50 観山恵理子（東京農工大）：卸売市場流通における公共性と官民協働の可能性
14:40	S604 13:55-14:15 加藤 颯（千葉大）ほか：3次元データを用いた地形と植生の新たな展開	S704 13:50-14:05 上村博昭（尚美学園大）：隠岐諸島における商業活動の変容—市場の縮小と本土との関係強化に伴う影響
15:00	S605 14:15-14:35 堀田紀文（東京大）：流域への土砂供給は土石流扇状地を介してどのように制御されるのか？—大谷崩における研究を通して考えたこと	S705 14:05-14:20 池田真志（拓殖大）：フランチャイズチェーンにおける店舗立地と事業承継
15:20	S606 14:35-14:50 齋藤 仁（名古屋大）ほか：高精細地理情報を用いた斜面崩壊と植生景観に関する研究	[休憩] 14:20-14:30
15:40	S607 14:50-15:10 手代木功基（金沢大）：阿蘇の植生変化から考えるジオコネクティビティ	S706 14:30-14:45 安倉良二（熊本学園大）：2010年代後半以降の熊本市中心市街地における大型店の立地再編
16:00	S608 15:10-15:30 伊藤千尋（九州大）：阿蘇の草原に刻まれたつながりの痕跡をたどる—多様な「人と自然」の在り方をつなぐための超学際研究に向けて	S707 14:45-15:00 駒木伸比古（愛知大）ほか：協同空間としての商店街におけるまちあるきイベントの実践—愛知県豊橋市を事例として
16:20	S609 15:30-15:50 内山庄一郎（防災科学技術研）：高精細多層地表情報の活用による防災減災の実現に向けて	S708 15:00-15:15 田中健作（金沢大）：福井県永平寺町における旅客輸送サービスの多様化と住民ドライバーの拡大
16:40	[総合討論] 15:50-16:30	S709 15:15-15:30 中村 努（中京大）：愛知県豊明市のケア供給体制にみる協同空間
17:00	終了時刻 16:30	[休憩] 15:30-15:40 [総合討論] 15:40-16:25 [コメント] 兼子 純（愛媛大）・土屋 純（関西大） [閉会挨拶] 16:25-16:30 終了時刻 16:30

## 第2日目 3月20日（水） 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
〈都市・交通〉		
341	草野邦明（群馬大）：8分の1地域メッシュによる東京都区部の人口年齢構成からみた居住地域分類	13:00
342	徐 銘（筑波大・院）：さいたま市における居住者行動の時空間特性とその地域的背景	13:20
343	富樫陸斗（東北大・学）ほか：人口減少期における小売業の空間分布の変化に関する全国的傾向	13:40
344	大石治憲（日本大・院）：横浜市中心部における都市構造と都市機能の特性	14:00
345	毛 鳳雨（法政大・院）：国有・民営・外資系企業の本社立地からみる中国都市の特徴	14:20
346	鈴木勇人（東京大・院）：東京大都市圏の墳墓供給における民間部門の役割	14:40
		15:00
		15:20
		15:40
		16:00
		16:20
		16:40
		17:00

## 第2日目 3月20日（水） 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈地理教育〉	〈地域計画・地域政策〉
13:00	541 榑原保志（信州大）ほか：小学校における地域ボランティア参加型防災フィールドワークの授業プログラムの開発と教育効果	641 前田洋介（新潟大）ほか：一括型地域交付金が地域運営組織及びコミュニティに果たす役割—岩手県陸前高田市の「地域交付金制度」を事例に
13:20	542 浅野敏久（広島大）ほか：クイズラリー・システムを使った環境教育プログラムの試作とエコミュージアム活動への展開	642 植松尚太（佐賀大・学）ほか：地方都市における地域おこし協力隊の実態と自治体及び活動地域との関係
13:40	543 Xiang, S.*(PhD Student of Hokkaido Univ.) and Watanabe, T. (Hokkaido Univ.): Revitalizing geoeducation through partnership framework: A case study of the school education program in Shikaai, Japan	643 落合弥知（東京大・学）：地方都市における社会インフラとしてのスポーツ・文化施設の在り方—官民連携に着目して
14:00	544 河野光浩（科学技術振興機構）：地理教育改革序説 2 地理学術論文とエッセイとの分水嶺—ウィーン「聖地巡礼」の場合	644 河村 光（名古屋大・院）：生活用水システムの再構築と自治体の役割—北海道東川町を事例として
14:20	545 守谷富士彦（桃山学院教育大）：歴史教育と地理教育の小中高一貫カリキュラム研究史の比較	645 飯嶋曜子（明治大）ほか：EU農村振興政策への機能的地域アプローチの導入
14:40	546 近藤裕幸（愛知教育大）：公民教育と地理教育の小中高一貫カリキュラム研究史の比較	646 山下博樹（鳥取大）：バンクーバー都市圏における広域政府の成立過程とその役割
15:00	547 小林岳人（千葉県立千葉高）：世界各国の学校地図帳の地理教育における利用についての一考察	〈地図・GIS〉
15:20	548 松本至巨（東京学芸大附属高）：教科間連携の取り組み—学校設定科目「地球科学」の設置に向けて	647 王子豪*（立命館大・院）・夏目宗幸（九州大）：中国における地級行政区画の年代別境界データの作成
15:40	549 松下直樹（愛光中・高）：高等学校「地理総合」における生成AIを活用した授業—学習者のアイデア創発を促す実践構築に向けて	648 井上萌来（立命館大・院）ほか：多様な地理空間情報を活用した京町家の滅失推定に関する研究
16:00		649 岩井優祈（学振PD・日本大）：地図化されたリスク認知の空間的自己相関とその要因分析—GISと質的データの混合手法によるアプローチ
16:20		
16:40		
17:00		

## 第2日目 3月20日（水） 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈災害〉</p> <p>741 間宮千皓（都立大・学）ほか：茨城県久慈川中流域における水害防備林が洪水流に与える影響—洪水氾濫シミュレーションを用いて</p> <p>742 山後公二（国土地理院）：浸水被害軽減に向けた浸水推定図の活用方策の検討—筑後川流域の浸水範囲の地形、人口データとの空間分析</p> <p>743 中山大地*（都立大）・久保田開己（都立大・学）：MASを用いた洪水時の避難行動シミュレーション—笛吹市石和・春日居地区を事例に</p> <p>744 岩船昌起（鹿児島大）：地震・津波に対する住民個々の備えに関するアンケート調査—西之表市・奄美市での内閣府「地震・津波防災訓練」の振り返り</p> <p>745 宮本真二（岡山理科大）ほか：アジア・モンスーン地域における災害履歴の共通性とグローバル問題群の展開</p> <p>746 原 祐二*（和歌山大）・三瓶由紀（京都産業大）：都市化による切盛造成と付随する建設発生土流動の環境影響評価</p>	<p>〈地形〉</p> <p>841 水野一晴（京都大・名誉）：ケニア山とキリマンジャロにおける30年間の氷河と生態系の変化</p> <p>842 奈良間千之*（新潟大）・有江賢志朗（宇宙航空研究開発機構）：ケニア山における2016年～2023年の小規模氷河の質量収支</p> <p>843 大谷侑也（摂南大）：東アフリカ高山帯のジャイアントセネシオの枯葉を用いた過去100年間の古環境復元</p> <p>844 山縣耕太郎（上越教育大）：熱帯高山ケニア山における周氷河環境</p> <p>845 山田奈穂（新潟大・院）ほか：深層学習を用いたキルギス・天山山脈における氷河湖マッピング</p> <p>846 松岡憲知*（茨城大）・渡邊達也（北見工大）：温暖化でスバルパールの周氷河景観はどう変わる？</p> <p>847 近藤玲介（北海道大）ほか：根室半島西部、落石岬周辺における条線土の記載と層序</p> <p>848 西川穂波*（北海道大・院）・白岩孝行（北海道大）：知床世界自然遺産・ルシャ地区海岸における海岸漂着物の経時変化</p> <p>849 関口辰夫*（前国土地理院）・秋山一弥（前国土技術政策総合研）：山形県飯豊山地北東部の雪崩地形</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>



# 第1・2日目 3月19・20日 (火・水)

## ラウンジ1

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(火)10時～17時までと3月20日(水)9時～15時まで、17号館5階ラウンジ1～3で行います。発表者による説明は、3月19日(火)16時～17時もしくは3月20日(水)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |      |  |      |   |
|------|--|------|---|
| P001 | 澤田結基(福山市立大)ほか:根室半島におけるアースハンモックの分布と形態   | P013 | 宇佐見星弥(北海道立総合研究機構)ほか:平成30年北海道胆振東部地震以前に発生した北海道厚真町朝日地区におけるテフラ層すべりの現地調査       |
| P002 | 福井幸太郎(富山県立山カルデラ砂防博物館)ほか:立山・内蔵助氷河でのUAVを用いた積雪観測  | P014 | 平峰玲緒奈*(学振PD・都立大)・石村大輔(都立大):下北半島尻屋崎,奄美大島手広海岸・ホノホシ海岸,石垣島明石海岸の海浜堆積物中に挟まる漂着軽石 |
| P003 | 有江賢志朗*(宇宙航空研究開発機構)・奈良間千之(新潟大):飛彈山脈の小規模氷河・多年性雪溪の維持メカニズム   | P015 | 吉田明弘*(鹿児島大)・佐々木明彦(国土館大):長野県志賀高原田ノ原湿原における後期更新世以降のテフラ層序と年代                  |
| P004 | 齊藤 建*(新潟大・院)・奈良間千之(新潟大):飛彈山脈の多年性雪溪の形成条件  | P016 | 中村有吾(十勝岳ジオパーク推進協議会):十勝岳ジオパークの特徴を世界のジオパークと比較する                             |
| P005 | 武田皓明(新潟大・院)ほか:杓子沢雪溪で掘削したアイスコアの花粉分析   | P017 | 石井祐次(産総研):十勝平野沿岸にみられる最終氷期の扇状地性の河成段丘のルミネッセンス年代                             |
| P006 | 高木芹菜*(新潟大・院)・奈良間千之(新潟大):杓子岳北東斜面における堆積土砂量の経年変化  | P018 | 高橋尚志(東北大)ほか:画像解析を用いた相模川中流域における河成段丘礫の円磨度の計測                                |
| P007 | 齊藤 桂(新潟大・学)ほか:リモートセンシングに基づく周氷河砂礫斜面の礫移動の空間分布  | P019 | 山中 蛭(広島大・学振DC)ほか:変動地形から推定される曽根丘陵断層帯の右横ずれ変位                                |
| P008 | 縫村崇行(東京電機大)ほか:地表面温度の時系列変化から推定する氷河表面のデブリ層厚分布  | P020 | 金子朋紀*(茨城大・院)・小荒井 衛(茨城大):福島県いわき市の塩ノ平断層,井戸沢断層,湯ノ岳断層における滝の後退量から推定する過去の活動     |
| P009 | 中田 高*(広島大・名誉)・熊原康博(広島大):ヒマラヤの主分水界における氷河争奪の発見とその特徴  | P021 | 平野優人(東京学芸大・学)ほか:断層崖沿いに発達する石灰岩堤の形成に関する一考察                                  |
| P010 | Daiyrov, M.* and Narama, C. (Niigata Univ.): Glacial lake formation related to glacier shrinkage in the Kyrgyz Range | P022 | 高井智大*(東京学芸大・学)・青木久(東京学芸大):静岡県芝川にみられる峡谷の形成について                             |
| P011 | 齋藤健太(筑波大・院)ほか:2018年豪雨による広島市南部の水路頭集水域内の崩壊発生率—1945年枕崎台風の影響を含めた分析   | P023 | 石村大輔(都立大)ほか:徳島県小松島沖,亀磯周辺の海底地形   |
| P012 | 渡辺 樹(都立大・学振DC)ほか:長野・新潟県境関田山地,関田峠付近の山体重力変形と大規模崩壊の関係   | P024 | 植木岳雪(帝京科学大):四国南東部における沖積層の層序・層相・年代の場所による違い                                 |

# 第1・2日目 3月19・20日 (火・水)

## ラウンジ 2

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(火)10時~17時までと3月20日(水)9時~15時まで、17号館5階ラウンジ1~3で行います。発表者による説明は、3月19日(火)16時~17時もしくは3月20日(水)11時40分~12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| P025 | 川島朋佳(東京学芸大・学)ほか:高校生における冬季に関する季節および自他地域の判断—豪雪域と同緯度の非豪雪域福島県南相馬市における高校生を対象として | P036 | 山形えり奈*(法政大・院)・小寺浩二(法政大):最上川流域の水環境に関する研究(3)                         |
| P026 | 千葉晃(杉並区立東原中):2024年能登半島地震発生後の能登半島における寒さについて—厳冬期の避難所運営の観点から                  | P037 | 三浦エリカ(早稲田大・院)ほか:横須賀市を流れる平作川の水質に関する水文地理学的研究(1)                      |
| P027 | 土屋日菜*(都立大・学)・松山洋(都立大):方向別バリオグラムを用いた線状降水帯の長軸・短軸比の抽出(第2報)                    | P038 | 乙幡正喜*(法政大・院)・小寺浩二(法政大):新河岸川上流域の河川水質の変化とその要因について                    |
| P028 | 松本貴子*(法政大・学)・山口隆子(法政大):生保内だしの吹走による健康影響について                                 | P039 | 平本行弘*(法政大・学)・小寺浩二(法政大):千葉県印旛沼の水環境と流入河川が及ぼす影響                       |
| P029 | 大久保香穂*(法政大・院)・山口隆子(法政大):関東地方を中心とした天然氷製氷池の分布と気温復元                           | P040 | 小池青*(法政大・学)・小川滋之(ふじのくに地球環境史ミュージアム):湘南地域の海浜植生に影響を及ぼす踏圧と微地形の関係       |
| P030 | 増田耕一*(立正大)・市野美夏(ROIS-DS-CODH):日照時間の全国分布からみた東北地方の冷夏                         | P041 | 長田強志*(日本大・院)・森島濟(日本大):1976年における鬼怒川源流域に成立する針広混交林の林分構造               |
| P031 | 平野淳平(帝京大)ほか:東北地方日本海側地域における過去約350年間の冬春季の降雪率変動                               | P042 | 高橋拓也*(都立大・院)・川東正幸(都立大):埋立造成緑地における交換性陰イオンの水平・垂直分布                   |
| P032 | 赤坂郁美(専修大)ほか:フィリピン北西部における1903年の干ばつの気候学的特徴と農業への影響                            | P043 | 岩佐佳哉(大分大)ほか:高解像度地形データを活用した災害対応への貢献—2023年6月の大分県由布市湯布院町川西における土砂災害の事例 |
| P033 | 張皓文*(日本大・学)・森島濟(日本大):タイプ別ENSOによる長江中・下流域の夏季の気候への影響                          | P044 | 鈴木比奈子(栗駒山麓ジオパーク推進協議会)ほか:文化遺産防災マップの構築と災害対応への活用                      |
| P034 | 高橋日出男(都立大):日平均気温の年変化における段階的な季節遷移   | P045 | 池庄司規江(茨城大)ほか:防災の基盤としての地域コミュニティ—広島市の混住化地域と新興住宅地におけるコミュニティ・レジリエンスの差異 |
| P035 | 五味すみれ*(都立大・院)・高橋日出男(都立大):長野県諏訪地域における塩嶺風の風速分布推定と日変化特性                       |      |  |

# 第1・2日目 3月19・20日 (火・水)

## ラウンジ 2

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(火)10時～17時までと3月20日(水)9時～15時まで、17号館5階ラウンジ1～3で行います。発表者による説明は、3月19日(火)16時～17時もしくは3月20日(水)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |      |   |      |  |
|------|---|------|--|
| P046 | 渡邊三津子(文教大)ほか:古写真・<br>絵図を用いた約100年間のウランバート<br>ル景観変化復元   | P056 | 甲斐智大(大分大)ほか:五島キリシ<br>タンー仏教集落の社会的統合に保育所<br>が果たした役割と残存する不平等  |
| P047 | 早川裕弐(北海道大)ほか:3D地形景<br>観模型を活用した地理のアウトリーチ<br>推進   | P057 | 田村莉子(お茶の水女子大・学):不安<br>定な身体の公共空間における不可視性<br>一月经という生きられた経験を事例に   |
| P048 | Li, S.* and Chen, K. (Graduate<br>Student, Keio Univ.): Mapping<br>gender disparities in Chinese labor<br>market: A geospatial analysis of<br>income and occupational differences | P058 | 畠山輝雄(鳴門教育大):広域自治体<br>連携による地域包括ケアシステムとマ<br>ルチレベル・ガバナンスー埼玉県ち<br>ぶ圏域を事例に  |
| P049 | 澁谷和樹*(常葉大)・神谷 悠(立教<br>大・学): MaaSアプリに対する利用者<br>の評価ースマートフォンアプリへのロ<br>コミを資料とした分析   | P059 | 井内麻友美(日本大・院):日本にお<br>ける公営プラネタリウム施設の上映プ<br>ログラムからみた実態   |
| P050 | Kamakura, N.* (The Univ. of<br>Tokyo) and Baeza-gonzález, S.<br>(Univ. of Concepción):<br>Characterizing Japan's technological<br>regions using patent data                       | P060 | 桐村 喬(京都産業大):空中写真に基<br>づくDSMを利用した建物倒壊状況の把握<br>の試みー令和6年能登半島地震を事例に  |
| P051 | 大西健太(都立大・院):地方アニメ<br>制作会社データベースを用いた産業特<br>性の検討  | P061 | 秋山祐樹(東京都市大)ほか:政府統<br>計を活用した将来の空き家分布予測手<br>法の開発と空き家予測マップの公開   |
| P052 | 菊地穂澄*(東京大・院)・小泉秀樹<br>(東京大):経済センサス上の千葉市<br>飲食店事業所数の検証ー経済センサス<br>の事業所数は正しいか?  | P062 | Ito, N.* (Naruto Univ. of<br>Education) and Miao, X. (Univ. of<br>Stirling): Asian scholars'<br>development of Geocapabilities: How<br>does Lambert's geography curriculum<br>making model travel in Japan and<br>China? |
| P053 | 岩木雄大(佐賀大・学):福岡市博多<br>区吉塚市場リトルアジアマーケットの<br>商店街振興に対する経営者の評価   | P063 | 根元裕樹*(都立大)・続木敏之(駒場<br>東邦中高):「地理総合」における<br>Leafletを用いたGISの授業実践の試行   |
| P054 | 埴淵知哉(京都市大):追跡データと手描き地<br>図収集による地理的社会調査の拡張   | P064 | 福田和維(上越教育大・院):妙高市<br>における雪の体系的な教育内容の開発   |
| P055 | 柳田裕紀(都立大・院):横浜市にお<br>ける中学生の学習塾への空間的アクセ<br>シビリティと地理的剥奪指標の関係  |      |  |

# 第1・2日目 3月19・20日 (火・水)

## ラウンジ 3

### ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(火)10時～17時までと3月20日(水)9時～15時まで、17号館5階ラウンジ1～3で行います。発表者による説明は、3月19日(火)16時～17時もしくは3月20日(水)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| P065 | 黒田圭介(佐賀大)ほか:中学校地理的分野と公民的分野の接続を意識した防災教育実践—新規避難所の検討と自治体への開設の要望活動を事例に                                 | P077 | 深瀬浩三(立正大):山形県寒河江市のさくらんぼ産地における観光農園事業の展開                         |
| P066 | 岡田ひかり*(立命館大・院)・堀川泉(京都大・院):日本の食の地理学におけるフードスケープ概念の可能性  | P078 | 植村円香(秋田大):転換期における新規参入者のコナコーヒー生産と産地の課題                          |
| P067 | Pan, Y. (Graduate Student, Univ. of Tsukuba): The utilization of Python in urban modeling analysis | P079 | 渡邊敬逸(愛媛大)ほか:愛媛県西予市石城地区に飛来するナベツルの遊動域と環境選択性に関する研究                |
| P068 | 土居晴洋(大分大):都市における墓地立地の推移—日本・中国・台湾の比較  | P080 | 茗荷 傑(日本大):角海浜毒消しし商人の足跡—毒消しの通った道                                |
| P069 | 森岡玄登*・竹川陽揮(専修大・院):東京圏西郊外のコミュニティに関する居住地満足度の地域差  | P081 | 中尾京子*(早稲田大・院)・野津 喬(早稲田大):遺構を再生する小水力発電事業の意義と課題—受け継がれる地域の物語として   |
| P070 | 川添 航(立正大):1990年代以降における在留外国人向け宗教施設の拡大とその特徴  | P082 | 高場智博(五島列島ジオパーク推進協議会)ほか:五島列島福江島における潜伏キリシタン集落の立地と視認性—仏教集落の比較を通して |
| P071 | 山本沙野香(専修大・院):東京都心周辺地域・高円寺の場所特性の形成  | P083 | 吉野 裕(日本大):神楽の継承と近隣神楽団との関係性に関する研究—宮城県北部の法印神楽を事例として              |
| P072 | 兼子 純(愛媛大)ほか:韓国の「縮小都市」における中心商業地の構造変化—全羅北道南原市の事例   | P084 | 一ノ瀬俊明(国立環境研):地理学者とアーティストとのコラボレーション                             |
| P073 | 両角政彦(都留文科大):産地組織の連携によるブランド戦略の革新—魚沼「豪雪は百合籠」と沖永良部「GIえらぶゆり」   | P085 | 山下亜紀郎(筑波大)ほか:静岡県三島市源兵衛川における都市の水辺空間の総合的評価                       |
| P074 | 池田和子(農政調査委員会):ミカン農家による収穫アルバイト雇用の現状と背景—愛媛県八幡浜市真穴地区の事例   | P086 | 谷口智雅(三重大)ほか:三島市における都市の水環境—源兵衛川の事例                              |
| P075 | 原田一学(広島大・院):柑橘産地における農業法人への労働力供給の地域的特徴—宇和島市吉田地区を事例に   | P087 | 渡来 靖(立正大)ほか:静岡県三島市源兵衛川が都市の熱環境に与える影響                            |
| P076 | 畑中健一郎(長野県環境保全研):山間小集落での希少種保全活動の継続要因の検討—長野県小谷村の事例   | P088 | 坂本優紀*(都立大)・山下亜紀郎(筑波大):静岡県三島市における子どもの水辺空間利用                     |